

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	健全児童デイサービス			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 17日		～	2025年 3月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15家族	(回答者数)	10家族
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		～	2025年 3月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人一人の特性に応じた丁寧な支援が行える。	毎月各児童に対する支援の評価、反省、改善点を話し合い、より良い支援につながるよう取り組んでいる。	話し合った内容がさらに支援の充実につながるようにしていく。
2	毎回工夫を凝らした支援プログラムの提供を行っている。	何をすれば子どもたちが楽しく興味をもって取り組むことができ、さらに学びにつながるかを全職員で考え実行している。	プログラムを事業所の目立つ場所に掲示して、保護者にも取り組みを理解してもらえるようにする。
3	有資格者(言語聴覚士・柔道整復師・保育士・教員等)それぞれの知識や経験を支援に生かすことができる。	言語聴覚士を中心に研修や話し合いを行い、支援の方法や言葉のかけ方、接し方について学び実践している。	全職員が共通の意識で支援にあたることができるよう、研修等でさらに知識を深める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や受け入れ態勢が整っていない。	今まで地域との交流やボランティアの受け入れ等、積極的に行ってこなかったため習慣や下地がない。	地域に向けての活動や事業所を知ってもらうための努力を今後行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 健生児童デイサービス

公表日 2025年3月31日

利用児童数

15

回収数

10

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8			2		十分なスペースを確保している。見学や相談の際に事業所内を案内する。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	2		2	送迎が職員の方不足でできない時がある。送迎有だと非常にありがたい。	事業所から自宅まで送迎を行う勤務体制をとっていないため、今後も自宅までの送迎は難しい
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			2		見学や相談の際に事業所内を案内する
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9			1		見学や相談の際に事業所内を案内する
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					今後も引き続きこどもの特性に応じた支援を行っていく
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	1		2	支援プログラムの予定が分からない。	事業所内の分かりやすい場所とHPに掲載する
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					今後も引き続きこどもの特性に応じた支援を行っていく
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	1		1		丁寧な説明を行っていく
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	1				丁寧な説明を行っていく
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10					今後も工夫を凝らし楽しく学びのあるプログラムを提供していく
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		4	3	3		長期休み以外で外出機会がほとんどないため、今後積極的に地域とのつながりを大切にしていきたい
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	2				印象に残るよう丁寧に続けていく
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	1				印象に残るよう丁寧に続けていく
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	3	4	2		どの保護者に対しても丁寧にやっていく
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10				今日やったこと、子どもの様子の情報共有がある	毎回確実にやっていく
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10				毎週確認、サポート有	今後も引き続きこどもの特性に応じた支援を行っていく
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					今後も引き続きこどもの特性に応じた支援を行っていく
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	6	2	ないが、特に必要だと思わない。	SNS等を活用し保護者同士の繋がりを手助けできる機会を設ける	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			2	あまり相談はしていないが、親身な対応をして頂いている。	計画書交付の際には説明を行っているが今後も丁寧に続けていく
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					今後も引き続き子どもの特性に応じた支援を行っていく
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	3		3	HPあまり見ていません。	発信しているがもっと積極的に行う
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	1		1		見学や相談の際に事業所内を案内し説明する
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	2		1		周知を徹底していく
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	2		3		周知を徹底していく
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	2	1	1		周知を徹底していく
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	2		4	発生していない。	周知を徹底していく
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	1				安心できる居場所づくりのために職員との信頼関係がさらに深められるよう努力する
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	3				今後も工夫を凝らし楽しく学びのあるプログラムを提供していく
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	1				今後も工夫を凝らし楽しく学びのあるプログラムを提供していく

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		健生児童デイサービス		公表日		2025年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		10人でも余裕のある空間と個室を用意している		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準の人数より多く配置しより手厚く支援、指導できるようにしている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		運動できる広い空間と個室を用意し、毎日丁寧に掃除を行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		監視カメラ付きの学習室やクールダウンできる場所を設けている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月指導計画を職員間で作成共有している		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年年度末に行っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月行っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		3年後をめどに検討中	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		各種研修を案内し参加を促している。研修費交通費の全額及び一部を補助	全職員が安心して自信を持って業務に取り組めるよう研修機会を設ける	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPとすてっぷサポートに掲載中	事業所のわかりやすい場所に掲載し周知する	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		6か月に一度保護者と面談を行い課題やニーズを共有している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		毎月行っている支援会議での意見をもとに計画を作成している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		誰でも分かるよう簡潔な内容となっている		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		月間指導計画を関係職員で必ず作成している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		前月の反省を踏まえてプログラム内容を変えている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		メンバーや状況に応じて課題や過ごし方を決めている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援内容、役割分担を前日までに共有し確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		振り返りと良かった点改善点など出し合っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別の様子、記録、体調等運営支援ソフトを利用し共有している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に一度支援会議を行いその中で見直している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			地域交流が弱いため今後機会を増やしていきたい
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子ども同士の話し合いを尊重し活動している		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本的には児童発達支援管理責任者が全てに参画し、状況に応じ担当者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校からの連絡事項は必ず保護者からもらい教師とも適宜情報交換している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	該当なし	障害福祉サービスへの移行者がいないため機会がなかったが、今後増えることが予想されるため情報提供を積極的に行う
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			センターとの交流はほとんどない。相談支援員を通して増やしていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		グループ内の保育園児との交流がある	外出を増やし外出先でも多くの交流が持てるようにする
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		必ず参加している	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に必ず保護者と状況や課題を伝えあっている		

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		送迎時もしくは求めに応じ行っている	気軽に相談できるよう周知徹底する
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧に説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時に必ず保護者と話す機会を設け依頼があれば別途時間を設け実施している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		兄弟児をイベントに招待している	保護者会は現在は行っていないが過去に進学説明会や親子教室、食事会を開催していたため、再び実施する機会を考えている
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速に対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページやSNS等を通じて定期的に発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫に保管している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		信頼関係を築き何でも話せる関係を築くようにしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後検討していきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		毎月防災訓練を行っている	保護者への周知を徹底していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月の防災訓練の中で行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		アセスメントの際や適宜確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		机を分けて食事をするなど対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		外出時の危機管理マニュアル作成や研修を行っている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に丁寧に説明している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		発生した時点ですぐに作成し共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		入社時と社内外の定期的な研修を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		指針を作成し対象者には計画に記載している		